

建築設備工事業における足場を起因物とする死傷災害発生事例（2017年）

2017年発生月	時間	死傷災害発生事例	年齢	労働者規模
2	15~16	個人宅屋根工事で足場を歩いている、上を向いた時、足場の棒が右目の黒目に当たってしまった。	21~	19
4	11~12	外壁塗装工事の現場で足場の架設作業中に、2階部分の足場から転落し、頭部と左手を強く打った。	48~	19
6	15~16	構内にて配管補修作業中、ヘルメット・安全帯装着にて作業をしていたが、ナットを締めていた際、ラチェットレンチが折れた反動でバランスを崩し、安全帯の掛け方が悪く落下し、怪我を負った。	30~	19
7	14~15	2階建新築工事現場で、足場の上で壁の中の板針作業をしていた。しゃがんで作業していたところ、手すりの間から地面に落ちた。	69~	19
9	16~17	製作所工場K1の8機建屋8棟L3~4階部分の塗装工事を終えて、その作業近辺の足場を含めた清掃及び片付け作業中、誤って約9.5Mの高さの足場から転落し、足場下を清掃していた他の下請先従業員が接触して地面に叩きつけられ負傷したものである。	63~	19
9	13~14	体育館吊り天井改修主体工事において、小アリーナ足場の組立作業の手元として作業中に資材を取りに行く際、既存梁に頭部をぶつけてバランスを崩し、15.7mの高さの足場から転落した。落下途中に足場転倒防止単管にも衝突し、全身を強く打ち出血を伴う意識不明の状態だった、救急車でセンターに搬送されたが死亡した。	21~	1029

10	14~ 15	倉庫出入口のシャッターを取り付ける作業で、出入口にシャッター柱を設置時に柱材料である鉄アングルを寸法サイズに切断する工程で、右手に工具のベビーサンダーを持ち、左手で鉄アングルを押さえ切断中に、サンダーの回転が力の加減により跳ね返り、サンダーが材料を押さええていた左手に当たり左手を切ってしまった。	1 49 ~ 9
12	13~14	2階デッキ塗装に小型ローリングを使用中、ローリングに昇降したところ、ローリングごと転倒し、被災者が下敷きになり、右肩を負傷した。	30 37 ~ 49

出典：[https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen\\_pgm/SHISYO\\_FND.aspx](https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.aspx)(職場のあんぜんサイト)

Return to : [https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206\\_11.html](https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206_11.html)